雜 錄 Miscellaneous

〇地衣胞子ノ發育並ビニ退化現象ニ就イテ¹⁾ (高宮 篤)

地衣類 が殆ド必ズト云ツテモ差支エナイ位屢々裂芽又ハ粉芽ニヨル 無性的繁殖法ノ用意 ヲ有シテ 居ルコト、 且又其等ノ 場合ニハ地衣體ノニツノ 構成分子タル 菌類ト藻類トガカ ラミ合ツタママ移植サレルコトニナル等ノ現象ヲ見テ、誰デモ先ヅ考ヘルコトハ、 ソノ子 器ノ中ノ子囊ニ收メラレテキル胞子が單獨ニ彈キ出サレ、外界デ發芽シ、藻類ヲ 捕ヘテ再 ビ完全ナ獨立ノ地衣體トナルト云フャウナ、危ゲナ繁殖法が地衣ニトツテ果シテ重要ナ役 割ヲ演ジテ居ルデアラウカ、又モシ無性的繁殖法が極メテヨク役立ツテ居ルモノナラバ生 物界ニ屢々見ラレル 他ノ例ノ如ク、不便ナ途ハ退化シテ、或ハ退化シツツアルノデハアル マイカト云フ疑問乃至憶測デアル。實際ソノ様ナ意見ハ多クノ地衣學者ニョツテ洩ラサレ テ居り、又子靈菌類一般ニツイテモ往々云ハレテ居ル。特ニ、殆ド絕對ニ子器ヲツケナイ 地衣或ハ子靈菌ガ 多種アルコトハ他ノ場合ニツイテモ胞子ノ退化ヲオモハスモノガアルト 考ヘラレテキル。著者ハ實驗的ニコノ事ヲ Xanthoria parietina var. aureola 及ビ Xanthoria polycarpa ニ就イテ研究シタ。是ハ無性繁殖モヤリ胞子モツクル地衣デアル。先ヅ 各種ノ大キサニ迄發育シタ子器ノ切片ヲ造リ(セロイディン法)、子嚢及ビ胞子ノ發生發育 ノ狀況ヲ追跡シ、若イ子器デハ成熟シタ子嚢ハ中央部ニ、反之古イ大キナ子器デハ主トシ テ外縁部ニ分布シ、尚ホ古イ子器デハ全面ニ亘ツテアトカラポツポツ伸ビ上ツテ來タ若イ 子嚢が散在スルコトヲ確メタ。ツマリ一次的ノ成熟順序ハ中央カラ縁ニ向フノデアル。サ テ是等ノ切片中ニハ多クノ 中途デシナビタ子靈ガ觀察サレタ。ソレハ正常ナ發育途上ニア ルモノトハ明カニ異ルモノデ、發育停止ノ時期ニ關シテモ接合部ノ細胞核ノ融合前迄ノモ ノ、接着ヲ了ツタモノ、減數分裂期ノモノ、胞子形成途中ノモノ、8個ノ胞子ガ種そノ程度 ニイヂケテヰルモノ、4個シカ熟シテ居ラヌモノ、2個シカ熟サヌモノ等様々デアル。是 等ノ謂ハバ崩レタ子靈ハ子器ノ全面ニ互ツテ存在シテキル。イヂケタ胞子モソノ 2個ノ室 ヲツナグ細イ管狀ノ孔ガ缺ケテ居ルモノ、油滴ヲ含ムモノ等様々デアルガ是等ハ子器カラ 放出サレテモ決シテ發芽スルコトガナカツタ。濕リ氣ヲ與ヘタ子器ノ上ニカザシタ硝子板 ニ向ツテ自然ニ射出サレタ胞子ノ中ニハ完全ナ形ノヨク酸芽スルモノモ、 形ハ完全デアル ガ發芽ノ遲イモノモ、又形カラシテ缺陷ガアリ發芽力ヲ 持タヌイヂケタ胞子モアツタ。槪 シテ徑 0.5 mm 位ノ至極稚イ子器カラ最モ發芽力ノ盛ナ胞子ガ射出サレル。子器ガ本實驗 ノ條件ノ下デ胞子ヲ放出シツヅケル 期間ハ稚イ子器 (0.5 mm) デハ3日、舊イモノ程永ク 徑 4mm ノモノデハ 18 日モ 續イタ。終リニナルニ從ツテ、イヂケタ 胞子ガ多ク射出サ レル。以上ガ主ナ結果デアルガ、本邦ニモ多クノ地衣愛好者ガ各地ニ 居ラレルノデアル シ、此ノ様ナ 生態觀察乃至研究が其等現地部隊ニョツテ盛ニ行ハレル事が極メテ有意義ナ ノデハアルマイカト愚考スル。

¹⁾ RÄMSCH, H.: Entwicklungsformen und Degeneration in Xanthoria-Apothecium (Archiv f. Mikrobiologie X 279-301. 1939).